新年、あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。

日頃より、国税労働組合総連合青年協議会（青年協）の活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私たち、青年協は、青年層固有の問題の解決のため職場で働く皆様の声を集約し、当局に対して改善の要求を行っています。

特に、処遇面については、同期・同年入所者を一律に昇格させることができる予算が確保されているなかで、いまだに普通科生の２級昇格の分断発令が行われています。

昇格の分断発令は、職員録上の官職の記載の有無だけではなく、その職員の生涯賃金にも影響を及ぼす事柄であり、無用な軋轢や劣等感を生じさせてしまうことから到底納得できるものではありません。

また、主としてオンライン形式で実施されている各種研修については、育児や介護等の理由で研修受講に足踏みしていた職員にとって、研修受講の機会を得られる点で有用であると考えます。

しかしながら、研修効果の観点から一部カリキュラムについて集合形式での受講を求める声が寄せられており、当局に対し、研修の受講形態について、柔軟な対応を求めていく必要があります。

私たちの活動により要求が実現したものもありますが、現在においても課題は増え続けており、全ての課題を解決するためには、皆さまの声が必要です。

さて、私は「万里一空」という言葉を常に心の中に置いています。

万里一空とは「目標を見据えて、たゆまず努力を続ける」という覚悟を表している言葉です。

青年層職員は、税務のプロフェッショナルとなるべく、あるいはそれぞれの目標に向かって日々研さんを続けています。

そんな青年層職員の皆さまが将来にわたり、意欲と希望を持って働き続けられるよう、青年協は青年層固有の問題解決という目標を見据え、たゆまず努力を続けていく覚悟でございます。

私たち、一人一人の声は小さく、時にはかき消されてしまうこともあるかもしれません。しかし、みんなで声をあげれば、少しずつ大きな声となり、声が大きくなれば一見実現が困難であると思われる要求についても勝ち取ることができるようになります。

我々、青年層職員は、日々刻々と変化する時代の中で、常に税務行政の最前線に立ち続けることが求められており、情勢はより一層厳しいものがありますが、少しでも働きやすい職場を目指して進んでいきましょう。

最後になりますが、皆さまと御家族のご健康とご多幸を祈念し、また、皆さま方の引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

ともに頑張りましょう。

令和５年　元旦

青年協議会　議長　渡邉　勇樹